

Timecode Systems

UltraSync BLUE のスタートガイド

UltraSync BLUEについて

Bluetooth® 経由でタイムコードを同期させるデバイスです。Bluetooth® を使用してサブフレーム単位の正確なタイムコードを収録デバイスに送信します。

Bluetooth による同期 :

接続台数 : 対応可能製品と最大 6 台まで同期

※ UltraSync BLUE は対応可能な製品のみと Bluetooth® で同期いたします。対応製品については、製品詳細ページまたは最新のカタログに掲載しております。

※ 製品カタログ : <https://www.ask-media.jp/component/jdownloads/category/30-catalogs.html?Itemid=0>

RF による同期 :

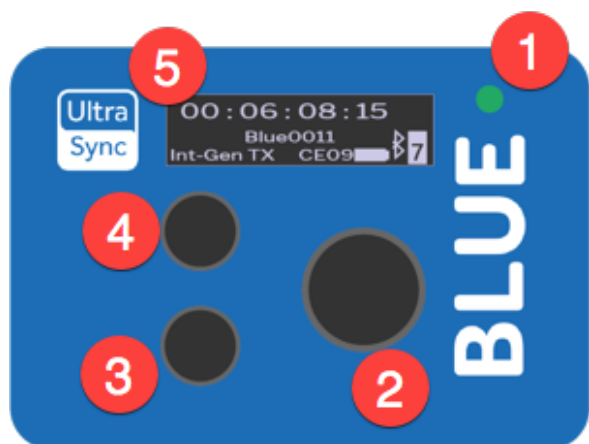
接続台数 : 制限なし

※ RF (radio frequency) を使用して、UltraSync ONE や ATOMOS の対応製品と同期が可能です。

※ 親機 (RF Server) から子機 (RF Client) へタイムコードが送信され同期します。

参考 : <https://www.wirelesstimecode.com/about-wtc>

UltraSync BLUE の表示とコントロール



1. LED (ステータスインジケータLED)
2. Select ボタン
3. Down ボタン
4. Up ボタン
5. OLED

OLEDは、メッセージ、その他のステータス情報、BLUE を設定するために使用するメニューとオプションを表示します。

UltraSync BLUE の起動

1.Select ボタンを押します。

LED ランプが点滅して、OLEDに下記画面が表示されます。

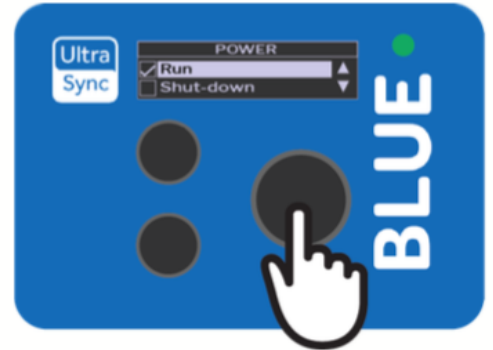
2.Up / Down にて、希望のメニューを上下で移動します。

「Run」 UltraSync BLUE の起動

「Shut-Down」 UltraSync BLUE の電源オフ

「Factory Reset」 初期状態にします。

「Back」 選択前のメニューに戻ります。



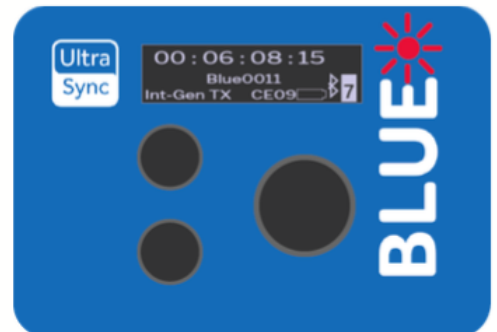
「Run」 のチェックが入っている状態で、Select ボタンを押します。

確認のメニューが表示されますので「Confirm Above」で Select ボタンを押します。

3.UltraSync BLUE が起動すると、右上の LED が点滅します。

OLED に、タイムコード、製品名、モード(RF, Free-Run)、バッテリー容量が表示されます。

Up / Down でスクロールすることでシリアル番号やフレームレート、Bluetooth の接続状況など確認できます。



UltraSync BLUE の状態

LED (ステータスインジケータLED) にて、BLUE の状態が判別できます。

緑色点滅 :

- ・ UltraSync BLUE フリーランモードで自走している場合。
- ・ UltraSync BLUE が RF Client で RF Server と同期している場合。
- ・ UltraSync BLUE が RF Server の場合。

緑色点灯:

- ・ UltraSync BLUE の電源がオフで、バッテリーが完全に充電された場合。

青色点滅 :

- ・ UltraSync BLUE が RF Client で RF Server と同期していない場合。

赤色点滅 :

- ・ UltraSync BLUE のバッテリー容量が減少し、充電中の場合 (UltraSync BLUE がオンになっている場合は、充電中でも LED は赤く 点滅しません)。
- ・ UltraSync BLUE のバッテリー容量が低下している場合。
- ・ UltraSync BLUE が、RF Server と再同期中の場合 (LEDは、2回 素早く点滅します)。

UltraSync BLUE の設定変更

起動した状態で、「Select ボタン」を押します。「MAIN Menu」が表示されます。

「Key Lock/Unlock」 ボタンのロックやロック解除

「TimeCode」 タイムコード、FPS、ユーザビットの設定

「BlueTooth Pair」 UltraSync BLUE 対応の製品と
BlueTooth のペアリングまたはペアリングを解除

「RF Settings」 RF ネットワーク通信による、BLUE 同士の同期や 他の Timecode Systems 製品との同期
の設定 (RF チャンネル、RF Region)

「Display」 OLED の明るさ、LED の明るさ、自動的に画面をオフ 「Short (10秒)、Long(20秒)、Never (常時
オン)」

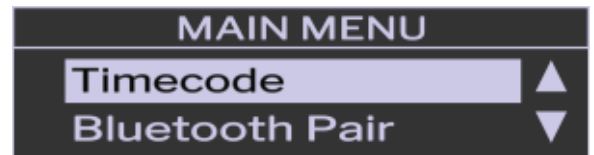
「Device Mode」 モード設定

RF Server 「T/C RF Server」、

RFスレーブモード 「RF Client」、

フリーラン 「Free Run」

「Power」 起動、停止、初期状態にリセット



UltraSync BLUE の技術仕様

カテゴリー	仕様
寸法	55mm × 44mm × 17mm (幅 × 高さ × 奥行)
OLEDディスプレイ	青色 128 × 32ピクセル
タイムコードジェネレータ精度	TCX0 0.5ppm (フリーラン時) 実測24時間に約1フレームのずれ RFがマスターにロックされている時は0ppm
サポートされるFPSモード	23.98 24.00 25.00 30.0D (ドロップフレーム) 30.00 29.97D (ドロップフレーム) 29.97
外部電源	USB-C (5V DC)
内部電源	内蔵リチウムポリマー (3.7Vバッテリー800mAh 2.96Wh、ユーザーによるバッテリー交換不可)
充電所要時間	約3.5時間
期待されるバッテリー持続時間	約20時間
マルチチャンネルデジタルトランシーバー	865.050MHz から 923.200MHz
アンテナ	内部アンテナ (ダイバーシティ受信機能付き)
Bluetooth® 通信範囲	Bluetooth Low Energy (BLE) 低消費電力の通信モード。 Bluetooth 対応デバイスの製品間は、同じ部屋で使用するように設計されています。約10m 以内です。
RF 通信範囲 * * 通常範囲。範囲は変化する場合があります。	UltraSync BLUE 間や他の Timecode Systems 製品と RF 通信による同期が可能です。 遮蔽物がない場合、マスターと同期できる通常範囲は、約200m (256フィート・219ヤード) です。スレーブとマスターの間に障害物があると、範囲は短くなります。

UltraSync BLUE のファームウェアアップデート

Timecode Systems 本国サイトよりファームウェアアップデートソフトをダウンロード後 PC にインストール頂いたのち、PC と 本体を付属の USB ケーブルで接続して行います。

ファームウェア情報 : <https://www.timecodesystems.com/support/firmware/>